

未来に向かって夢を持ち、豊かに生きる浦安っ子の育成

# URAYASU STYLE

Vol. **33**  
2017.12

教育情報誌  
うらやすスタイル  
浦安市教育委員会

## 富岡中学校区クリーン作戦・南小ロードアート

境川沿いの花壇には、富岡中学校区青少年健全育成連絡会が中心となって行われるクリーン作戦により、きれいな花が四季を通して咲いています。またフラワー通りは、毎年、南小学校の子ども達が描いた花でいっぱいになります。どちらの取組も、地域と豊かにかかわる活動として引き継がれています。



特集

## 浦安っ子を支える 地域の力。これからの学び



### 浦安囃子保存会結成七十周年記念公演

浦安市無形民俗文化財である浦安囃子。浦安囃子保存会が、結成から70年を迎えたことを記念して行われた公演において浦安小学校のお囃子部が祭囃子を披露しました。



# 浦安っ子を支える地域の力

子どもたちは、地域社会とのつながりや信頼できる大人との多くの関わりを通して、心豊かにたくましく成長していきます。今回は、子どもたちの成長を支えている地域の方による活動について、「ひと」にスポットをあて、紹介します。

## 学校の学びを支える

### 地域とともに歩む学校を目指して

#### 地域ボランティアによる学校支援

幼稚園・認定こども園・保育園、小・中学校では、読み聞かせなどの学習支援や花壇などの環境整備、通学路の見守りなど、地域の方々によるさまざまなボランティア活動が行われています。浦安小学校では委員会活動やクラブ活動、部活動などで、地域の方と児童が交流を深めながら、子どもたちの育ちと学びを支えています。



ふれあい農園 秋の収穫祭

#### インタビュー 浦安離子保存会

平成14年より浦安小学校の子どもたちに浦安離子を教えました。お離子は心をひとつにすることが大切ですので、礼儀作法についても指導しています。礼儀作法を学ぶことはなかなか難しいようですが、高学年の児童が手本となり、4年生も一生懸命練習に取り組んでいます。お離子を通して、浦安をさらに好きになってもらえるとうれしいです。



#### インタビュー 生涯大学浦安会

「植物を育てる楽しさを子どもたちに伝えたい！」という思いから、年間を通して「育てる委員会」の活動を支援しています。10月には、育てる委員会で育ててきた落花生を収穫しましたが、子どもたちや教職員の皆さんと収穫の喜びを分かち合うことができました。現在は卒業式に向けてサクラソウを育てています。子どもたちが楽しそうに活動している姿が、次の活動への意欲へとつながっています。



## 学校と地域や保護者のパイプ役 となって

### 学校支援コーディネーター

学校支援コーディネーターは、学校と学校を支援するボランティアをつなぎ、連絡、調整していく役割を担っています。浦安市では、平成23年度より配置を進め、今年度は、42名の学校支援コーディネーターが市内の小・中学校で活躍しています。



#### インタビュー 日の出中学校支援コーディネーター 室井 彰子さん

日の出中学校区は、サポーターズクラブの皆さんが企画しているキャリア教育「働クエスト」や地域の皆さんによる「ふれあい農園」など、地域の皆さんや保護者の皆さんの学校への支援が大変活発な地域です。学校支援コーディネーターとして、今年度は、2年生の職場体験受け入れ先の開拓・調整や、3年生のマナー講座、未来塾等のお手伝いをさせていただきました。学校の二

ズを知ることから始め、保護者の皆さんや地域の皆さんにも、学校支援コーディネーターを知って頂けるように、日頃よりお話をさせて頂いています。今年でコーディネーター3年目となりますが、活動を通して、生徒の皆さんの明るい笑顔に接することは最上の喜びであり、幸せ、やりがいを実感しています。



## 中学生の学習をサポート

### 青少年自立支援未来塾

学習習慣の定着や学力の向上を図ることを目的に、教員OBや大学生などを講師（学習支援員及び未来塾サポーター）として、市内の全中学校で青少年自立支援未来塾を実施しています。



#### インタビュー 浦安中学校未来塾学習支援員 岡 絵理先生

中央図書館で週に1回2時間、中学3年生21名を講師2人で担当しています。当初、学校とは違う環境に子どもたちが戸惑っているようにも見えたので、できるだけ気軽に明るい雰囲気の中で学習を進められるように心掛けました。主に数学のプリント演習が中心ですが、学校の授業の補習や定期試験の対策など、教科や学習内容を限定せず学習をサポートしています。入試までの残り期間、さらに子どもたちが意欲的に学習を進められるよう働きかけ、学力の向上につなげたいと思っています。

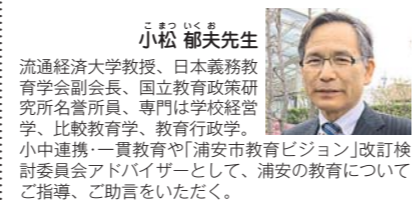


## 専門家に聞く 教育コラム

### 地域の教育力を高めるために大切にしたいこと

学校は子どもが効果的に学べるように、知識や情報などを体系的に教育課程として編成します。しかし、現代社会では学びの機会や内容はあらゆる場所に息づいています。生きる力に関わる学びのチャンスは、家庭や地域の方により多く見つかる場合が少なくありません。そのためには、第一に、見逃しがちな文化財や

人々の存在を発掘し、その意義や価値などをわかりやすくPRすることが重要です。第二には、持続可能な方法で地域の教育力を教材にまで整備することが大切です。そして第三には、楽しみを感じ、できるだけ協働性を高めて、関わる人が一緒に絆を結び、強固にしていけるよう、将来への期待や希望を描く



ことが大切ではないでしょうか。浦安は、夢を感じられる最高の資源と人々が集っている街です。ふるさと浦安を愛する心が支えになってくれます。

## 地域ぐるみで行う科学の教育 世界一行きたい科学広場 in浦安2017

東海大学附属浦安高等学校・中等部で開催された世界一行きたい科学広場は今年で6回目を迎えました。教育団体や企業をはじめとする50近くの団体が科学に関する出展をしました。



#### 大会副会長 NPO法人ガリレオ工房理事長 滝川 洋二先生のお話

専門家が分かりやすく紹介する科学イベントは、学校だけでは経験できない広がりや深みを持っています。今回のような科学イベントが広がったのは、1992年に始まった「青少年のための科学の祭典」がきっかけです。楽しみながら知識が豊かになると共に、学ぶ意欲の育つイベントで、地域ぐるみの教育力が広がっています。学びの達人になった子どもたちが、次の時代を切り開いてくれることを期待しています。



## 放課後を支える

### 放課後の活動を見守りたい

#### 南小キッズランド「放課後異年齢教室」

児童が通い慣れた学校施設などを活用し、遊びや学びの場を提供する「放課後異年齢児交流促進事業」は、今年度から、市内の全小学校で通年実施しています。

#### インタビュー 南小キッズランド

南小キッズランドでは、放課後の子どもたちに楽しんでもらえるように、堀江公民館と連携し、工作教室や体操教室を実施しています。さまざまな企画は、南小キッズランドで遊ぶ子どもたちの様子を見て決めています。

入学式の時期になると、南小学校の卒業生が中学や高校の制服姿で遊びに来てくれます。地域の子どもたちの成長を見守ることは、スタッフの何よりの喜びです。

今年度は放課後異年齢児交流促進事業を主体に土曜学習を実施し、各事業所で特色あるプログラムが展開されています。

南小 キッズランド「ダブルタッチ教室」



明海小 あけみあそびひろば「体操教室」

東小 ちあふるひろば「いけばな教室」

### 放課後の時間を楽しく

#### 公民館講座「来てみて！遊ぼう！みはま缶」

美浜公民館では、放課後の子どもたちの学びの場として「みはま缶」を開催しています。市民サークルや地域ボランティアの方が講師となり、参加した子どもたちは、料理や工作に取り組んでいます。

#### インタビュー 横山 小夜子さん

心ゆくまで楽しいと感じる「体験」と「環境」を大人の責任で子どもに提供したいという思いから、活動を続けています。

活動の中でたくさんのお子さんと出会いましたが、たくましく成長する姿を見て私が元気をもらいました。

#### インタビュー 清水 久子さん

ボランティアとして子どもたちと関わるようになって3年目となります。

公民館以外の場所で、子どもたちや保護者の方から声をかけてもらえる機会も増えました。ボランティア活動を通して、「人」と「人」のつながりのあたたかさを感じています。



## 安全を支える

### これからの時代を担う子どもたちのために

#### 浦安市青少年補導員



#### インタビュー 連絡協議会会長 富山 勝夫さん



青少年補導員として長年、子どもたちと接してきました。地域の姿は時代とともに変化してきましたが、子どもたちは今も昔も変わりません。

地域の大人が子どもの手本となる行動をしていれば、子どもたちは身近にいる大人を自然と見習うものです。その反面、大人が間違った行動をしていれば、子どもたちにも影響を与えてしまいます。

大切なのは家庭・学校・地域の大人。地域の宝である子どもたちに愛情をもって声をかけ、見守っていくことだと思います。これからも青少年補導員の仲間と共に、活動に取り組んでいきます。

### 子どもたちの安全と成長を見守る

#### インタビュー 市原 利昭さん



6年間、交通安全推進隊として活動を続けています。毎朝、部活動に向かう子どもたちの登校時刻から見守りを開始。子どもたちや地域の方と交わすあいさつが元気の源です。

活動を続けることで、たくさんのお子さんの成長を見届けることができました。これからも、自分の足で歩ける間は、子どもたちと地域を見守り続けていきたいです。

#### 交通安全推進隊



### 児童・生徒が浦安について学び、調べた成果を発表する

#### ふるさと浦安作品展

今年の「ふるさと浦安作品展」には市内の小・中学生から合計1903点の作品が寄せられました。子どもたちの目線で捉えた浦安の良さや課題、未来への提案はいずれもすばらしいものでした。

小学校の部で市長賞を受賞した美浜南小学校の川上百合佳(かわかみゆりか)さんは、「水防意識の高さNo.1のまち浦安を目指して」をテーマに、市内の堤防や旧江戸川の上流などを実際に見学した記録や、水害や水防の歴史を調べた結果と考察をまとめました。



#### 平成28年度浦安市小・中学生実態調査

#### 自分の住んでいる町や地域が好きだ

小学1～3年生	74.3%	14.3%	88.6%
小学4～6年生	68.6%	22.4%	91.0%
中学生	54.3%	35.2%	89.5%

#### 地域の活動に参加している

小学1～3年生	48.1%	22.4%	70.5%
小学4～6年生	43.0%	27.7%	70.7%
中学生	32.4%	30.2%	62.6%

■ とてもそう思う ■ まあそう思う

# 新学習指導要領で変わる 浦安っ子の学び

小中学校の教育内容などの基準を示した学習指導要領が、小学校では平成32年度、中学校では33年度から新しくなります。

新しい学習指導要領では、グローバル化や情報化が進む中で、子どもたちがこれからの社会や世界に向き合い、関わりあひながら「生きる力」が求められています。

新学習指導要領の改訂に向けて、変わり始める浦安市の小中学校の教育を紹介します。



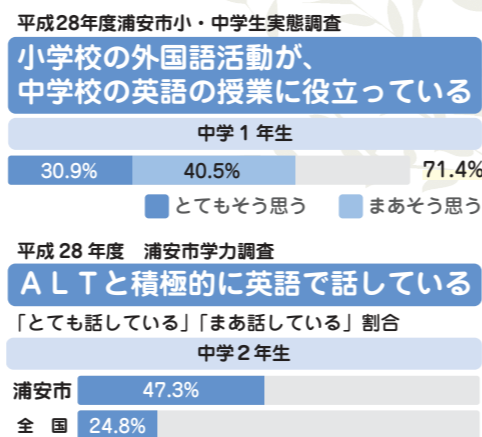
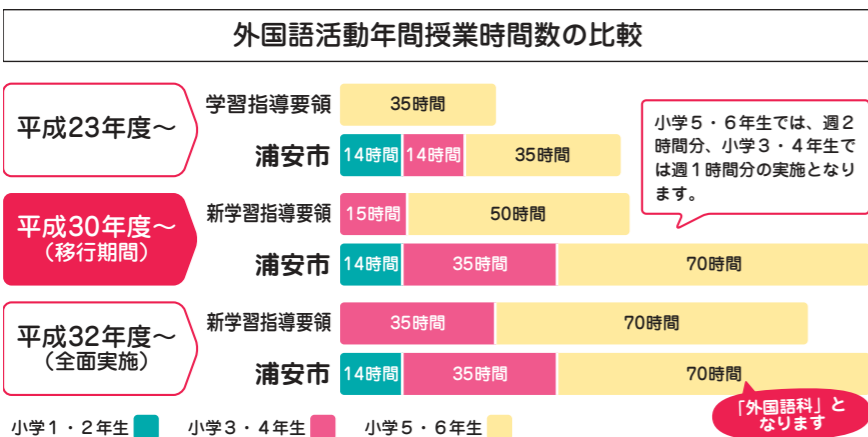
学習指導要領改訂までのスケジュール	
	30年度 31年度 32年度 33年度 34年度
幼稚園	全面実施
小学校	移行期間 特別の教科 道徳 / 総合的な学習の時間 / 特別活動 全面実施
中学校	移行期間 特別の教科 道徳 全面実施 総合的な学習の時間 / 特別活動 全面実施

## 外国語活動の充実

# 外国語に親しみ、義務教育9年間を通じた英語力、コミュニケーション能力をはぐくむ

浦安市では、これまでも文部科学省から教育課程特例校の指定を受け、ALT（外国語指導助手）を市立全小中学校に配置し、小学1年生から外国語活動を実施しています。

小学1・2年生の外国語活動を引き続き実施するとともに、小学3～6年生の外国語活動については、平成32年度の全面実施に向けた時間数で実施します。



## 情報教育の充実

# パソコン・タブレット等を活用し、情報を効果的に・わかりやすく・正しく扱う力を育てる

新学習指導要領では、学習の基盤となる資質・能力として「情報活用能力」が重視されます。

また、小学校では、プログラミング体験を通して、論理的思考力（物事を順序立てて考える力）を身に付けるための学習活動が、平成32年度から行われます。

「情報活用能力」とは？

- コンピュータ等を用いて情報を得たり、
- 情報を整理・比較したり、
- 得られた情報をわかりやすく発信・伝達したり、
- 保存・共有したりできる力

(情報モラル・情報セキュリティに関する力を含む)



▲校外学習のレポートを説明し合います  
▶プロジェクタを使って、調べ学習の結果を発表します

# 考え、議論する道徳でよりよく生きる力をはぐくむ

## 道徳教育の充実



◀道徳ノートを活用して自分の考えをまとめます  
▼お互いの考えを付せんに書いて議論します

平成30年度（中学校は31年度）「特別の教科 道徳」の全面実施を控え、一層の充実が求められている道徳教育。市内の小・中学校では浦安っ子の「豊かな心」を育むため、教職員が知恵を出し合い、よりよい授業づくりへの取組を進めています。

たとえば、「思いやりは大切」なことはだれもが知っていることです。しかし、「なぜ大切な?」「大切にすることの意義は?」と問われたらどうでしょう。道徳はそうした多様に答えがある課題について、教師と子どもと一緒に考えていく時間です。

是非、学校公開等の機会に道徳の授業を参観いただき、ご家庭でも話題にしてください。

## Q & A 「特別の教科 道徳」では、今までの道徳とどう変わりますか？

- Q. 道徳が教科になると何が変わるの？
- A. ①授業では主に教科書を使います  
教科書は4月に全員に配付されます。
- ②通知表に道徳の評価が記載されます  
評価は数字や○などの記号ではなく、道徳の授業をととした子どもの成長について、文章で記載されます。
- Q. 授業の内容はどのように変わるの？
- A. 例えば「思いやり」や「生命の尊さ」について、自分とのかかわりで考えたり、友達と議論し、多様な感じ方や考え方に触れたりする活動をととして、自己の生き方について考えを深めることが一層重視されます。

# 第32回 はっぴい発表会

11月11日(土)に、浦安市の特別支援学級の子もたちが日頃学習してきた成果を発表する「はっぴい発表会」が行われました。今年度は、堀江中学校に特別支援学級「11組」が新設され、小学校11校、中学校9校、全178名の児童生徒が参加しました。新しくなった市文化会館大ホールで、歌やダンス、楽器の演奏、劇、手話、英語など、それぞれが得意なことや繰り返し挑戦して身に付けたことを、堂々と発表しました。また、有志の生徒や特別支援学校の児童と一緒に参加するなど、みんながはっぴいな気持ちになる温かな発表会となりました。子どもたち一人一人がステージ上



力強いソーラン節

で輝き、大ホールに観客の温かな拍手が鳴り響きました。



司会：高洲中学校

### 司会生徒の感想

人前に出ることが苦手でしたが、みなさんの温かい雰囲気のおかげで、頑張ることができました。とても楽しかったです。



司会：見明川中学校



開会セレモニー



only one みんな違って仲良し



息の合った楽器演奏



きれいなバルーン完成



構えも決まった和太鼓

## 参観者の声

感動し、涙が止まりませんでした。短期間の準備とは思えない息の合った発表は素晴らしいものでした。本当に拝見できて幸福です。

心温まる発表を見られてよかったです。どの学級も、その学校の良さや個性が出ていて素敵だと思います。今年は大ホールということで、演出も素敵でした。

今回初めてはっぴい発表会を見させていただきました。どの学校も一人一人にあった発表の仕方や演出の工夫が凝らされていて素晴らしいと思いました。来年も楽しみにしています。